

○令和元年度教育事業

「体験の風キャンプ in ゆーすぴあ（旭川児童相談所編）」

R1.7月11日（木）

◆目的

様々な課題を抱える青少年を対象に、自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行い、基本的な生活習慣の確立や自立する力を身に付けさせるとともに、成果を広く周知することを通して広く体験活動の普及を目的とします。

◆参加実績 参加者数：11名（引率者4名含む）

◆プログラム

ウォークラリー	施設周辺の「大雪コース」を周り、美しい景色を見たり、周辺を散策したりした。また、シェルター内の展示を活用し、大雪職員が十勝岳の歴史についてミニレクチャーをした。
バイキング（昼食）	自分の食べられる量などを考えながら、食べたいものを選んで食べるスタイルでの食事をした。
パラスポーツ体験	パラリンピック種目として注目を浴びている「ボッチャ」を体験した。

◆成果

- 児童相談所職員の方から、普段なかなか自由に過ごせる時間がない子どもたちだが、思い切り体を動かしたり、好きなものを食べたりという体験をしたことで、表情が明るくなったという声が聞かれた。
- 外出の機会が簡単には設定できない施設のため、それができたことでの子どもたちのやる気など気持ちの変化が見られたことから、体験活動の重要性を児童相談所職員の方と共有することができた。

◆参加者の声

- 最初は、できるかどうか心配だったけど、やった時に上手にできてすごく楽しかったです。（中学生）
- 昼食では、揚げたてのコロッケがほくほくサクサクで、とてもおいしかったです。（中学生）
- 子どもたちのいい表情をみることができたので、次年度以降も同じような体験ができると、子どもたちも貴重な時間を過ごすことができると思いました。（児童相談所職員）

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- プログラムや児童の実態等についての打合せは、施設訪問、電話、メール等で行った。参加する子どもたちの人数、性別、年齢等が把握できないため、必要な安全面を考えながら、弾力的に活動内容を組んでいくことが大切。
- 閉塞された生活環境の中で、最初はなかなか心を開かず、打ち解けられない子どももいるため、活動にスムーズに入っていくための関わりが大切。一緒に活動をする中で、嬉しい、楽しいなどの感情を共有したり、自分の力を認められたりするような関わりをしていくことで、自己肯定感を高めていけるようなプログラム展開を一緒に考えていくことが必要。

◆事業運営費 合計 129,242円

- ・賃借料 51,300円
- ・燃料費 576円
- ・消耗品費 68,900円
- ・食事代 6,310円
- ・保険代 2,156円